

# 令和4年度 GIGA校内研修 実践報告

学校名 ( 羽咋市立羽咋小学校 )

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	学校研究ビジョン伝達[全体] GIGA推進会議[GIGA推進チーム]	〇〇先生 推進チーム	研究全体会
5月	GIGA研修①「今年度の取組について」[全体] 研究授業[全体]	推進リーダー 〇〇先生	計画訪問A
6月	GIGA研修②「Gマークの取組進捗状況」「タイピング研修」 GIGA強化事業動画撮影(5年特別活動)[部会]	〇〇先生 〇〇先生	
7月			
中間目標 ・各教員がGIGAの実践を、掲示板や研修を通して2回以上紹介する。(GIGAレポ)			
8月	GIGA研修③「GIGA講演及び演習」(金沢星稜大清水教授)[全体] ハピネス・アカデミー summer 作成[若プロ] GIGA研修④「HAKUISM研修」「1学期実践の整理」[全体]	推進リーダー 若プロ 推進リーダー	
9月	GIGAモデル校研究会参加(羽咋市立瑞穂小学校)[希望者] 研究授業[全体]	校長・〇〇・〇〇 〇〇先生	
10月	GIGA研修⑤「情報モラル」[全体]	〇〇先生	
11月	GIGAモデル校研究会参加(羽咋市立羽咋中学校)[希望者] GIGA研修⑥「Teacher's presentation battle」[全体] GIGAモデル校研究会参加(能美市立浜小学校)[希望者]	校長・〇〇・〇〇 〇〇先生 推進リーダー	
12月	ハピネス・アカデミー winter 作成[中堅教師他]	中堅教師他	
中間目標 ・教員がICTを活用した授業を行い、その頻度を1学期以上にする。(Gマーク&Hマーク)			
1月	GIGA研修⑦「最近のゲームについて」「プレゼンの仕方」[全体]	〇〇先生・ 推進リーダー	計画訪問C
2月	公開研究会(研究概要説明・研究授業・実践紹介)[全体]	〇〇・〇〇・〇〇・ 推進リーダー・若プロ	GIGA強化事業公開研究会
3月	GIGA研修⑧「今年度のまとめと次年度に向けて」[全体]	推進リーダー	

学校研究や若プロなどと関連させることで、1年間を通じて、多くの先生が役割を担うことができている。

学校独自の特色ある研修を実施している。

学校全体で「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」に重点を置いて取り組み、教員の授業力向上に向けた手立てとして、指導主事を要請した研究授業を行っている。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 教員の目標
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」が往還的につながっている授業ができる。
  - ・「個別最適な学び」の『指導の個別化』と『学習の個性化』の意味を理解し、意図をもって授業を行うことができる。
- 児童の目標
- ・ICTを活用し、自ら進んで探究する。
  - ・学習方法を自分で選択し、目的をもって探究する。

## 成果

日常的に教師も児童もICT機器を活用し、授業や様々な活動を行うことができた。教師の授業実践力については、指導主事要請による研究授業をすることで向上を図り、ICT活用スキルや知識については、校内研修を中心に学び合うことができた。今年度は、「個別最適な学び」に重点を置いて取組を進めた。1学期に「往還祭」(個別と協働の往還的なつながり)、2学期に「選択祭」(児童が学習方法等を選択)、3学期に「複線祭」(複線型の授業)を全学級で実施することで、「個別最適な学び」のある授業を工夫し、共有することができた。

## 課題

発達段階に応じた、学年別の効果的なICT活用法の精選と、個別最適な学びにおける複線型の授業での個の見取りが課題である。